

【 記入例（被扶養者を減らす場合）】

＜注意事項＞ ※記入(入力)前にご確認ください

- ・本届出書の「正」に入力すると、「副」に反映されます。
- ・**正・副 共に提出が必要です。【提出先は事業主(退職後の任意継続の方は健保)】**
- ・年月日はすべて和暦6桁で記入してください。
- ・配偶者を削除する場合で、削除理由が「離婚」「収入増加(就職先の健康保険に加入した場合を除く)」に該当する場合は、「国民年金第3号被保険者届」と配偶者の年金手帳コピーも添付してください。(任意継続の方を除く)
- ・就職先の保険証コピー等、削除日がわかる書類、削除する方の保険証(保険証の記号が「36」の方は「健康保険証返却台紙(様式番号4688)に貼付)も一緒に提出してください。
- ・個人番号は記入不要です。

正

保険証に記載の資格取得年月日を記入

健康保険被保険者証	被保険者の氏名	生年月日	性別	昭平令	昭平令	千円	欄考
記号 36	番号 1111	ケンボ 太郎	昭平令 男女	62.04.11	昭平令 男女	21.04.01	入力不要
被保険者				所属名(連絡先)			
被保険者が実際に住んでいる住所を記入(単身赴任の場合は赴任先)				テケンナゴヤシ 県名古屋市中区		△△支店	
<p>就職の場合は、就職先の保険証の資格取得年月日を記入 国民健康保険に加入予定の方は記入不要</p>							
<p>職業 ・配偶者：パート・自営業など ・子供：小学生、中学生など ・親：年金受給者など</p>							
<p>以下の欄は増減の対象となる方についてののみ</p>							
区分	被扶養者の氏名	生年月日	性別	続柄	扶養開始または扶養しなくなった日	被扶養者の職業収入	扶養または削除の理由
増・減	ケンボ 花子	昭平令 03.08.25	昭平令 男女	妻	昭平令 05.05.01	パート 1,500	収入減
増・減	個人番号	被扶養者を減らす場合、個人番号は記入不要		海外居住者・海外から国内転入した方はどちらかに○ 海外特例要件※に 該当・非該当			
増・減	個人番号	海外居住者及び海外から国内転入した方のみ記入		収入は、 今後の年間見込収入を記入			
増・減	個人番号	記入した場合は、別途「海外特例要件該当・非該当届」も提出		同居・別居			
増・減	個人番号	海外居住者及び海外から国内転入した方のみ記入		扶養しなくなった理由 (記入例) ・他の健康保険に加入 → 就職 ・被扶養者の収入増加 → 収入増 ・離婚 → 離婚 ・死亡 → 死亡 ・その他 → 内容記入			
増・減	個人番号	記入した場合は、別途「海外特例要件該当・非該当届」も提出		海外居住者・海外から国内転入した方はどちらかに○ 海外特例要件※に 該当・非該当			
増・減	個人番号	記入した場合は、別途「海外特例要件該当・非該当届」も提出		同居・別居			
増・減	個人番号	記入した場合は、別途「海外特例要件該当・非該当届」も提出		海外居住者・海外から国内転入した方はどちらかに○ 海外特例要件※に 該当・非該当			